

## 海外経済

		5月	6月
世界経済		<p>世界の景気は、全体として弱い回復となっている。 先行きについては、弱い回復が続くと見込まれる。ただし、ヨーロッパ地域の一部の国々における財政の先行き不安の高まりを背景とした金融面への影響等により、景気が下振れするリスクがある。また、原油高の影響に留意する必要がある。</p>	<p>世界の景気は、全体として減速感が広がっており、弱い回復となっている。 先行きについては、弱い回復が続くと見込まれる。ただし、ヨーロッパ地域の一部の国々における財政の先行き不安の高まりを背景とした金融面への影響等により、景気が下振れするリスクがある。</p>
アメリカ		<p>アメリカでは、景気は緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復が続くと見込まれる。ただし、高い失業率の継続や住宅価格の下落等により、景気が下振れするリスクがある。また、財政緊縮の影響に留意する必要がある。</p>	<p>アメリカでは、このところ一部に弱めの動きもみられるが、景気は緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復傾向が続くと見込まれる。ただし、雇用環境の改善の遅れや住宅価格の下落等により、景気が下振れするリスクがある。また、財政緊縮の影響に留意する必要がある。</p>
アジア地域	中国	<p>中国では、景気は内需を中心に拡大しているが、拡大テンポが緩やかになっている。 先行きについては、テンポは緩やかになるものの拡大傾向が続くと見込まれる。ただし、輸出、不動産価格や物価の動向に留意する必要がある。</p>	<p>中国では、内需が伸び悩む中で、景気の拡大テンポは緩やかになっている。 先行きについては、当面、テンポは緩やかになるものの、各種政策効果もあり、拡大傾向が続くと見込まれる。ただし、輸出、不動産価格や物価の動向に留意する必要がある。</p>
	インド	<p>インドでは、景気の拡大テンポは鈍化している。 先行きについては、拡大テンポの鈍化が続くと見込まれる。また、物価上昇によるリスクに留意する必要がある。</p>	<p>インドでは、景気の拡大テンポは弱まっている。 先行きについては、当面、低めの成長となることが見込まれる。また、物価上昇によるリスクに留意する必要がある。</p>
	その他アジア地域	<p>その他アジア地域では、景気は一部に持ち直しの動きもみられるが、足踏み状態となっている。 先行きについては、当面、足踏み状態が続くと見込まれる。また、輸出の動向に留意する必要がある。</p>	(変更なし)
ヨーロッパ地域		<p>ヨーロッパ地域では、景気は足踏み状態にあり、一部に弱い動きもみられる。ドイツではこのところ持ち直しの動きがみられる。 ヨーロッパ地域の先行きについては、当面、弱めの動きになるものと見込まれる。また、一部の国々における財政の先行き不安の高まりを背景とした金融面への影響により、景気が低迷するリスクがある。さらに、各国の財政緊縮による影響や、高い失業率が継続すること等に留意する必要がある。</p>	<p>ヨーロッパ地域では、景気は足踏み状態にあり、一部に弱い動きもみられる。ドイツではこのところ持ち直しの動きがみられる。 ヨーロッパ地域の先行きについては、弱い動きとなることが懸念される。また、一部の国々における財政の先行き不安の高まりを背景とした金融面への影響により、景気が低迷するリスクがある。さらに、各国の財政緊縮による影響や、高い失業率が継続すること等に留意する必要がある。</p>